

平成26年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.1

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
日本共産党 南丹市議会 議員団 野村 健 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午前	政治姿勢	集団的自衛権行使のための解釈改憲について	立憲主義の立場から、閣議での解釈改憲は許されない。 憲法9条が歴史的に果たしてきた役割を今後も生かし、集団的自衛権行使はすべきでないと思う。国民的議論が必要で、市民を代表する市長の見解を伺う。	市長
	下水道事業	桂川中流流域下水道の移管について	①京都府からの移管について、協議の現状と見通しはどうか。 ②移管によって、下水道料の値上げにならないようにすべきと考えるが、見通しはどうか。	
	農業振興	農業委員会組織のあり方と農業振興について	①政府の規制改革会議の農業ワーキンググループの「意見」として農業委員会の「公選制廃止」などを打ち出したが、見解は。 ②「鳥獣害対策実施隊」設置の見通しはどうか。	市長
	教育振興	小学校再編整備について	園部・八木中学校ブロックでの校章、校歌、スクールバスの運行計画などについて、検討の状況を問う。	教育長
活緑クラブ 松尾 武治 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午前	行政改革	行政改革の取り組みと成果	①行政改革を進めているが、その成果を問う。 ②公益法人改革業務を外部委託したがその成果を問う。 ③機能しない総合支所の現状認識を問う。	市長 担当部長
		財政改革の成果	財政改革の成果を問う。 中期財政計画は25年度を最終年としているが、以後の財政計画は示されていない。市は、市民に対し財政計画を示す必要があると考えるが見解を問う。 合併自治体の多くは、人件費・賃金を削減し合併効果を示しているが、南丹市は相反して増加し合併効果が示されていない。 財政改革の視点で、削減できない現状をどのように分析しているのか問う。	
	教育行政	地域の活性化	地域の活性化には、市長の政策と実行に向けた施策が求められる。小学校の跡地活用においても同様であるが、地域の現状を活かす政策を示す必要があると考えるが見解を問う。	教育長 市長
		通学対策	通学費無償化を示されたが見解を問う。	
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午後	福祉政策	リンパ浮腫に対する取り組みについて	①リンパ浮腫に対する認識は。 ②本市におけるリンパ浮腫外来の治療及びセルフケア指導はどのような状況か。 ③現在、治療に対する健康保険適用はされていないが、この事に対する考えは。	市長
	総務	職員の人材育成について	①3期目を担うにあたって市政に対する理念とビジョンは。 ②職員の行動理念は。また、やる気をおこすためのモチベーション策は。 ③職員の研修はどのようにしているのか。 ④職員の勤務配置の考え方は。	市長
	交通対策	観光を考えた交通体系のあり方について	①観光客が本市に来られるのに市バスが公共交通として役割を果たしていると考えているのか。 ②年末年始の市バス運行を実施すべきと考えるが。	市長
丹政会 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午後	小学校施設	1. 利活用施設における市の財政支援について 2. 防災上の安全対策について	各校区における施設利活用について、各校区の方針案がまとまれば、方針案に基づいた形で取り組みがなされると思うが、財政負担(改修費・施設維持管理費等)の考え方を伺う。 小学校施設の立地状況によっては、校舎の耐震化・急傾斜防災対策措置を講じることが必要な校区もあると考えるが、その見解を問う。	市長
	子育て支援	保育・放課後児童クラブについて	市長選挙における政策、国の成長戦略に盛り込まれる放課後児童クラブの対象児童年齢の引き上げ、時間延長、教育内容等の充実が必要であると考える。その見解を問う。	市長 教育長
	定住促進	1. 民間研究機関「日本創世会議」が発表した成長を続ける21世紀のために「ストップ少子化・地方元気戦略」について	南丹市において30年後の人口減とりわけ20～30歳代の女性人口が5.8%減という試算数字等が発表された。 これについての見解を問う。	市長
		2. デマンドバス・交流施設の拡充について	市長選挙における政策、定住促進アクションプランに謳っているデマンドバス・交流施設の具体的内容について伺う。	

平成26年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.2

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
みらい南丹 野中 一秀 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午後	企画調整	市政推進の基本的方針について	積極的な施策の特色がどのように補正予算に反映されているのか。 市長の思い描く「真の南丹市」とは。 6つの基本的な重点項目の実現には柱となる政策が必要では。	市長
		京都府・大阪府・兵庫県の国家戦略特区について	この特区により観光やまちづくり政策による地域経済活性化のため本市に有利につなげるべきでは。	
	農政	農業の産業化について	南丹ブランド農業をどのように魅力ある産業に成長させるのか。	市長
	財務	普通交付税の合併算定替の縮減について	平成28年度より毎年、財源に不足分が生じてくるが、この課題に対応する策は。	
無所属 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 6月10日 午後	市政	3期目の市政への意気込みについて	①大変厳しかった市長選であったが、今、南丹市が抱える多くの行政課題解決に向けて効率の良い行財政運営、行財政改革推進の考えは。 ②国、府とどの様に連携を強め進めていくのか考えを伺う。	市長
	まちづくり	園部北部地域の発展について	①南丹市総合振興計画を掲げる中で、近年急速に人口、住宅店舗等が増え、一気に市街化が進んでいる状況があり、これからも人口増加が予想されるが、今後とくに北部の核となる行政施設を一体的、統合的に整備される必要があると考えるが。 ②これからの北部の発展を見据えての対応、市長の現状認識と行政支援について見解を伺う。	
	総務	公共事業の発注について	南丹市の基幹産業でもある公共事業は国において昨年12月に成立した国土強靱化基本法により、公共事業推進の観点からも建設工事の発注件数を増やす必要がある中で、発注時期、発注等級等の平準化を図る必要があると考えるが、市長の現状認識と対応について問う。	市長 担当部長
	人権政策	人権尊重のまちづくりについて	あらゆる差別を許さない人権を守る町づくりに取り組む中で、人権政策室を設置されたにもかかわらず、南丹市においても新たな差別事象の発生もしている。また、日本国内外のみならず社会でも最近3月にスポーツ界においてジャパニーズオンリー(日本人以外お断り)と差別横断幕が掲げられた問題もありきわめて人権問題が大変重要な課題であると思うが、市長の現状認識と人権政策室の果たす役割について問う。	市長 担当部長
	教育	安心、安全な通学体制について	将来の南丹市を担ってくれる大切な存在の子供たちのための通学体制について、児童、生徒が安心、安全な通学路を確保する上で、歩道のない所や幅が狭く段差などがあるところ、また暗くなった時の明かりのない場所への街灯設置やスクールバス通学等に向けた整備について、市長の現状認識と行政対応を伺う。	市長 教育長
日本共産党 南丹市議会 議員団 鞆岡 誠 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午前	市長の政治姿勢	市長の反問権と誠実な議会答弁について	①3月議会の経過から。 ②反問権の趣旨は何か。 ③趣旨を逸脱した反問権行使は認められない。 ④住民の前に誠実な答弁を。	市長
	災害対策	原子力災害における避難計画の実効性について	①福井地裁判決から学ぶべきは何か。 ②安全性の担保がない避難計画「倉林質問」の評価を問う。 ③南丹市の避難計画はどうなっているのか。 ④市長の掲げる「安心安全」のまちづくりの立場から態度表明を。	
	産業振興	農林水産業、商業、工業等地域経済の具体的振興施策について	南丹市の基幹産業である農林水産業において、担い手の具体的育成支援策や南丹ブランドの今後の推進方策等の振興施策について所見を問う。 疲弊した商店街をはじめ商業の立て直しが急務である。中心市街地活性化策に見られるように、商業面からすると各4町均衡ある支援策が今後必要と考えるが所見を問う。	市長
			公共事業の削減により建設業協会の会員数も合併後100社が減少しているが、市長の所見と今後の対応について問う。	
定住促進	人口減少の著しい南丹市の将来ビジョンについて	具体的定住促進策について、都市計画の推進や地元雇用の創出、利便性の高い地域の環境整備をはじめ、若者が出ていくまちから帰ってくるまちづくりを進めなければならないと考える。 短期的施策と中長期的ビジョンについて財政面も踏まえ市長の考えを伺う。	市長	

平成26年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.3

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者	
公明党 林 茂 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	人口問題	人口減少社会への対応について	日本創生会議の推計による30年後の当市試算への見解を伺う。	市長	
			市として人口減少問題対策チーム立ち上げの考えがあるのか。		
	環境	雨水利用促進法について	定住促進に向けての具体的取り組みについて。		市長
			子育て世帯の若者や女性が安心して子供を産み育てられる環境整備の実態は。		
丹政会 柿迫 正紀 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	国定公園	由良川桂川上中流域国定公園指定について	①国定公園指定についての市長の見解を問う。	市長 担当部長	
			②国定公園指定についての本市の行政としての対応について市民の意見、意向を問う機会はあるのか。そのスケジュールは。		
	消防・防災	消防団活動のあり方について	③府との連携について 近隣市町村との連携協定について伺う。	市長	
みらい南丹 廣瀬 孝人 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	商工観光	南丹市花火大会について	①実行委員会で運営するが、市の協力体制について。	市長	
			②安全管理が最大の課題であるが、対策は大丈夫か。		
	交通対策	八木駅舎改修とバリアフリー化について	③本市全域の観光事業となるが、経済効果は。	市長	
			④今後も南丹市の観光事業として継続出来るのか。		
都市計画	八木駅西土地地区画整理事業について	①八木駅舎の改修とバリアフリー化の完成時期は。	市長		
		②本年の花火大会は、車での来場を規制している。公共交通機関の対策が急がれる中、エレベーターが必要ではないか。			
社会福祉	「なんたんふれあいプラン」について	組合の事務局長・事務局員の選任が理事会で承認され、当初予算の借入金も承認された。 新しい市街地が形成されていく予定の中、上水道のインフラ整備の先行が必要と考えるが。	市長		
		①後期ふれあいプランが策定されたが、市との連携は。			
日本共産党 南丹市議会 議員団 仲 絹枝 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	まちづくり	八木駅舎改修について	②プランの基本理念を全市で共有するためには。	市長 担当部長	
			③プランは出来たが、実際にはどのように考え、行動するのか。		
	暮らし	交通政策について	①八木駅西土地地区画整理事業の進捗状況は。	市長 担当部長	
			②エレベーター設置を優先した工程とは。		
	エネルギー	再生可能エネルギーについて	③階段の安全対策は。	市長 担当部長	
			①デマンドバスの路線拡充、土・日運行、ダイヤの見直しなど図れないか。		
	介護保険	医療・介護総合法案について	①環境審議会の答申を受けての所見は。	市長 担当部長	
			②エネルギーの地産地消をどのように進めていくのか。		
①医療・介護総合法案に対する所見は。					
		②要支援者の介護保険はさすがに進められようとしているが、影響を受ける要支援者の人数は。	市長 担当部長		
		③現状のサービスを維持することは可能か。			

平成26年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.4

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者	
丹政会 大町 功 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午前	教育	小学校再編整備について	通学の方法や安全確保において、各学校PTA との話し合いは進んでいるのか伺う。	市長 教育長	
			昨年的一般質問でスクールバスは中学生との混乗と聞いた。それにより乗り換えの問題や、中学校校門付近で乗り降りすること、横田のバス停の問題も解決するとされていたが間違いはないか改めて伺う。		
	商工観光	るり溪水質浄化について	各学校では、閉校に向けた思い出作りや、式典の取り組みが計画されている。拠点となる学校も閉校式典が実施されるのか伺う。		市長
		観光振興と農業振興	再編であり、新しく歴史を作ることから、卒業証書は1番からと昨年の中で市長からの答弁であったが、その思いに間違いはないか伺う。		
無所属 西村 好高 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午前	都市計画	都市計画道路の整備について	昨年9月議会で、一定の水位まで水を抜くことの提案を行ったが、その後今日までの状況と今後の取り組みを伺う。	市長	
			①見直しされた都市計画道路の今後の整備計画について。		
	道路河川等管理	道路台帳等の閲覧について	二外が開通し今年度中には京都縦貫道の須知～和知間が開通する。また舞鶴道も敦賀まで繋がる。便利になるが反面通過の町になるのではないかと危惧する。観光客の誘致に向け積極的に取り組む必要がある。そこで園部IC付近に美山かやぶきの里など、補助看板の設置を提案するが見解を伺う。またアクセスを生かした農林業を含む基幹産業への取り組みを伺う。		
無所属 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後	社会教育	スポーツ少年団の施設利用料の免除について	②都市計画道路整備により、民間資金による宅地開発がなされる可能性が広がり、定住化促進につながると考えるが市長の考えを伺う。	市長 教育長	
			道路台帳及び河川台帳の閲覧について、具体的にネット上での閲覧もしくは台帳の写しの提供の考えは。		
	教育	小学校の再編整備について	スポーツ少年団および子供会の市管理施設利用料の免除について。		
①スクールバスの経路および学校付近におけるバス乗降場の進捗状況について。					
無所属 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後	定住促進	定住促進アクションプランについて	②再編される学校の規約および学校行事の擦り合わせの現状について。	市長 教育長 担当部長	
			③平成25年6月定例会の議案第39号に対する附帯決議の第1項八木中ブロックにおける新校舎整備について。		
			①プランは、南丹市において最重要・最優先で取り組まなければならない生産年齢世代の確保に焦点を当てた施策が弱いと考える。将来も持続可能な南丹市としていくためには、生産年齢世代の確保に集中して取り組むべきではないか。		
			②プランでは、生産年齢世代を対象とした住宅支援制度の導入を掲げているが、その具体策は。		
			③3千人近い学生が、一時期、南丹市で過ごしているが、これを定住促進に結び付けていくことが大切。そのための施策が必要では。		
	交通安全	生徒の交通安全対策について	④生産年齢世代の確保には、教育面での充実も重要。プランには、その施策が見えない。定住促進における教育施策の位置づけ、施策をどのように考えているのか。		
⑤定住促進は、子育て、教育、防犯・防災、住環境など幅広い分野に関わる課題。成果をあげるには、これら分野の施策が有機的に連携して打ち出されることが重要である。そのためには、小学校再編で動かしている実施本部のようなものを定住促進においても立ちあげ、組織横断的に実施していくことがまず重要と考えるが。					
交通安全	生徒の交通安全対策について	⑥充実した子育て施策や比較的便利な都市への交通アクセスにも関わらず、定住促進につながりにくいのは、南丹市のPRに課題があると考え。市の知名度の向上・ブランド化による定住促進を図るため、「シティセールス」という考え方、手法を検討し、取り組んではどうか。	教育長		
		①本市中学校の生徒の自転車通学(登下校時)の状況と指導の状況について。			
			②昨年の道路交通法の改正(自転車に関する事項)を踏まえた生徒に対する交通安全教育・指導の現状と今後の対応について。		